

光が丘第一小学校・光が丘第二小学校 統合準備会(第13回) 要点記録

開催日時	平成21年8月26日(水)午後6時~午後7時35分	
会場	光が丘第二小学校 図書室	
出席者	委員	細谷勝、齋藤栄子、野村隆久、遠田公博、岡本由佳、庄司幸、鶴岡まみ、長瀬あつみ、川澄吉広、上倉れい子、本橋和三、沢辺寅造、三澤ちづ子、岡子祐子(敬称略)
	その他	学校教育部長、学務課長
	事務局	新しい学校づくり担当課
傍聴者	0人	
案件	<ol style="list-style-type: none"> 1 統合準備会(第12回)の要点記録の確認 2 平成22年4月以降の就学先確認アンケートの実施について 3 統合新校の通学路について 4 統合新校の校章について 5 その他 	

1 統合準備会(第12回)の要点記録の確認

事務局

事務局が作成した「統合準備会(第12回)の要点記録(案)」の内容を、委員の方々に確認してもらいたい。訂正すべき点があった場合は、9月2日(水)までに事務局へ連絡してほしい。その後、発言者を無記名にして、新しい学校づくり担当課のホームページで公開する。

2 平成22年4月以降の就学先確認アンケートの実施について

学務課長

現在、統合対象校に在籍している児童の平成22年4月以降の就学先については、現在在籍している学校の統合新校へ就学することを基本としているが、通学区域外から統合対象校に就学している児童については、平成22年4月以降の就学先として、“統合新校へ就学する”または“通学区域の学校への転校を希望する”のいずれかの意向を確認するため、9月上旬にアンケートを実施する。また、このアンケートを踏まえ、11月下旬に、統合新校へ就学する児童全員に対し、入学通知書を配付する。

委員

アンケート期間が短いのではないか。

学務課長

約3週間あるので、十分だと考えている。

委員

35人学級となった場合の区への対応を確認してから判断したいので、アンケートの締め切りを1か月程度延ばしてほしい。

学務課長

アンケート結果に基づいて、11月に入学通知を送付するため、締め切りを延ばすことは難しい。また、アンケートをもって学校が確定するわけではない。事情があれば変更もありえる。

委員

変更した場合でも学校指定用品は配付されるという理解でよいか。

事務局

よい。

委員

今、説明された内容をアンケートの説明文から読み取ることは難しい。保護者会等を通じて直接説明してもらいたい。

学務課長

説明文の内容を工夫することで対応したい。

委員

アンケート対象者を教えてもらいたい。

事務局

現在、通学区域外から統合対象校に就学する児童が対象となる。

3 統合新校の通学路について

事務局

前回の通学路案との変更点が1か所ある。以前、学校から出されていた高松五丁目15番付近に光二小の児童が新校へ通う道として横断歩道を設置してほしいという要望については、警察に相談したところ、道幅が狭く安全な歩行者だまりがつかれない等の理由から設置は難しいとの回答で

あった。そこで、光一中前の信号機付きの横断歩道を渡り、光二小側の歩道を通り、光一小南門前の横断歩道を渡って南門から入るルートを通学路として新たに指定することとした。

会長

現在、光一小には学童擁護員を2名配置しているが、新たに2名増員する。配置場所は南門前の横断歩道と光が丘五丁目の交差点としたい。

委員

光が丘五丁目の交差点を歩車分離式にすることは可能か。

事務局

警察に相談したところ、車の通行も考慮する必要があるので、歩車分離式は難しいとのことだった。通学時間帯のみであっても、歩行者やドライバーの誤解を招き事故を誘発しやすいため困難であるとの回答だった。光が丘五丁目交差点には学童擁護員を2名配置する。

委員

学童擁護員の配置で安全は確保できるのか。

会長

歩車分離式が難しいのであれば、学童擁護員の配置が妥当ではないか。

委員

学童擁護員が配置される時間帯を教えてください。

会長

登校時刻と下校時刻で、1日5時間程度である。

委員

光二小側の歩道は自転車がよく通るので危ない。反対側の道を通学路とするほうがよい。

会長

反対側の道は車の抜け道につながっている。また、道に面している店の工事車両が出入りして危ない。そのため、光二小側の道を通学路とした。

委員

現在、光一中の生徒は光二小の東門を通過して通学している。光二小が廃校になると、光一中の通学に影響が出るのではないか。

会長

跡施設活用の状況にもよるが、光二小の東門は通れるようにすると思う。

委員

通学路の変更は可能か。

会長

今回示した通学路はあくまで案であるため変更は可能だ。

副会長

夏休み期間中、実際に通学路に立って確認した結果、現時点では、今回示した通学路が最も望ましいと判断した。

委員

新校の児童が光一中の敷地を通過して通学することは可能か。

副会長

他校の敷地を通ることは難しいのではないか。

会長

他に意見がなければ、この通学路案やこれまで出た意見・要望を新校である光が丘四季の香小に引き継ぎ、新校で通学路を指定していくこととする。

- 異議なし -

4 統合新校の校章について

事務局

各委員の投票の結果、校章図案は36件に絞られた。2票以上入ったもののうち、手書きの図案は専門家による補正を行った。次回の準備会で、1点に決めていただきたいので、本日、この中から出来る限り絞り込んでもらいたい。

会長

本日は5時から10時に候補を絞りたい。

委員

委員の投票で絞ればよい。個人的にはシンプルな図案がよい。

委員

「四季の香」という校名から、クローバーの図案に投票した。できれば児童の作品を選びたい。

委員

クローバーを描いた2番の図案がよい。子供でも書けるくらいシンプルなものがよい。また、両校の校章を併せたものより、全く新しい図案がよい。

委員

私も子供たちが書けるくらいシンプルな図案がよい。具体的には、1番か2番の図案がよい。

委員

できれば児童、でなければ保護者、せめて光が丘周辺地域の方の作品から選びたい。また、校章に入れる校名は「四季小」ではなく「四季の香」としたい。

委員

児童の作品から選べるとよい。

委員

シンプルな図案がよい。また、両校の校章を併せた図案は避けたほうがよい。

委員

投票で絞ればよい。個人的には校名が入った図案がよい。

委員

「四季の香」という校名から花をかたどった校章がよい。また、中央に校名が入ったほうがよい。具体的には7番の図案がよい。

委員

シンプルな図案がよいという思いがある一方、7番のような校章らしい図案もよいと思う。3点から5点程度に候補を絞った上で、専門家にアレンジしてもらいたい。

委員

シンプルな図案に校名を入れてほしい。

事務局

アレンジは可能だが、候補を絞ってから行うほうがよいと思う。

会長

2票以上入った16件の図案の中から検討したいがよいか。

- 異議なし -

委員

クローバーの図案を選んだ場合、クローバーをモチーフとした作品の応募者全員の名前を発表することになるのか。それとも、土台となった図案を応募した方のみとするのか。

委員

特定の方を発表すると、似た図案を応募した方に失礼だと思う。「クローバーをモチーフにした作品が多かった」という理由のみを発表するほうがよい。

事務局

どのように発表するかについても、準備会で検討してもらいたい。

副会長

他校の校章に校名は入っているのか。

事務局

学校による。校名が入らない校章もある。

会長

シンプルな図案がよい、児童の作品を選びたい、新しいデザインがよい等の委員の意見から、1、2、7、10、13、16番の6件に絞るといふことでよいか。

- 異議なし -

会長

委員の方には、次回までにどうアレンジするかについて考えてきてもらいたい。

事務局

校章にどのような思いを込めたかという説明についても検討したい。

副会長

他の統合新校と図案が似てしまわないよう、他の準備会の絞り込み状況を報告してほしい。

事務局

次回、資料を提供する。

5 その他

副会長

今回は10月1日(木)光二小で、次々回は10月28日(水)光一小で、ともに午後6時か

ら開催する。次回準備会では、校歌の検討を行うので、作詞・作曲者の自薦・他薦があれば、事務局へ報告してもらいたい。

委員

改修工事の進ちょく状況を教えてもらいたい。

事務局

若干遅れてはいるが、夏休み中の工事は間に合ったと聞いている。今後も、学校に迷惑がかからないよう進めていく。

委員

スピードより安全性を重視してほしい。

委員

ほこりや塗料の臭いへの対応もしっかりしてほしい。

委員

工期が延びるとしても、安全性を優先して工事を行ってほしい。

委員

今後統廃合を行う場合は、児童の居ながら工事は避けたほうがよい。

事務局

ご心配をかけて申し訳なく思う。ご指摘いただいた点は工事担当者に伝え、しっかり対処していきたい。

会長

本日はこれをもって終了する。